

令和3年度 中・四国各県の研修会【報告】

【鳥取】県

研修会名称	鳥取県小学校体育研究会夏季研修会(リモート開催)
期 日	令和3年8月11日(水)
会 場	各学校(リモート)
内 容	<p>9:15 ~ 9:30 クラスルーム開場 受付 9:30 ~ 9:50 開会行事 10:00~ 10:20 研修推進について</p> <p>10:30~12:00 講義 愛媛大学 教授 日野克博 氏</p> <p>①東京オリンピック・パラリンピックについて ②どのような体育授業を目指すのか</p> <p>12:00~13:15 休憩・昼食</p> <p>13:15~14:30 中・四国研究大会(高知大会)分科会プレ発表 発表者 北栄町立大栄小学校 藤原育大 先生</p> <p>14:40~15:00 中・四国3専門委員、健教研より 15:00~15:20 R5中・四国鳥取大会について(報告) 15:20~15:30 閉会行事</p>
報 告	<p>コロナ禍での実施のため、リモート開催で研修を行った。まず、県の研究推進について研究部長より研究の視点を中心に伝達が行われた。令和3年度から令和5年度までの県大会、中・四国鳥取大会を全県共通の視点をもって取り組んでいくことを確認した。次に、愛媛大学教授の日野克博氏による講義が行われた。東京オリンピックを学校の体育授業に生かすヒントをいただき、子ども主体の体育授業の大切さを教えていただいた。また、すべての子どもに運動に対する自信を付けることの大切さを学んだ。</p> <p>午後からは、北栄町立大栄小学校の藤原育大先生による中・四国研究大会(高知大会)分科会のプレ発表をもとに研修を行った。中学年のはばとびで「身に付けさせたい動きを明確にした指導」「単元構成や学習過程の工夫」「場の設定」「評価の工夫」の4つの視点をもとにした実践発表をしていただき、よりよい分科会発表にしていくための話し合いをした。また、日野克博氏からも指導助言をいただいた。夏休み明け以降の体育授業の参考になることをたくさん学んだ研修会となった。</p> <div data-bbox="1054 1166 1631 1599"><p>3 研究の実際と考察</p><p>視点(1)身に付けさせたい動きを明確にした指導 幅跳びの一連の動きを、以下の4つに細分化し、 身に付けさせたい動きとした。⇒サーキットの場づくりへ</p><p>「リズムアップの助走」 「力強い踏み切り」 「空中動作」 「柔らかい両足着地」</p><p>これらの動きを習得するために、後述する単元構成や、学習過程の工夫をおこなった。</p><p>中・四国研究大会(高知大会)分科会の プレ発表資料より</p></div>